

令和7年度 香川県立琴平高等学校 学校評価

本校では次の教育方針のもと、本年度の重点目標を掲げ教育活動に取り組んできました。

【教育方針】

心身を鍛え、生涯にわたって学び続ける意欲を養い、地域社会の一員としての自覚と国際的視野を育み、社会の変化に主体的に対応できる心豊かでたくましい人間の育成を目指し、次のような教育方針のもと、家庭や地域との連携を図りつつ、明るく活力に満ちた学校づくりを推進する。

1. 人間や自然を愛する心を養い、心ゆたかな誠意ある人間の育成に努める。
2. 自主、自立の精神を養い、心身ともにたくましい熱意あふれる人間の育成に努める。
3. 広く高い知性を養い、郷土を愛し、社会の発展に貢献する創意に満ちた人間の育成に努める。

【本年度の重点目標】

地域社会の中核として活躍するたくましい人材の育成 — 地域で学び、地域で育つ琴高生 —

- ① 基礎学力の向上
- ② 基本的な生活習慣の確立
- ③ 進路意識の高揚
- ④ 地域連携の推進

今年度の教育活動に関して、自己評価、生徒からの授業評価、学校評価アンケート(生徒・3年保護者・教員)を実施しましたのでその結果を報告します。

また、令和8年2月に学校関係者評価委員会を実施し、自己評価、生徒からの授業評価、学校評価アンケートの集計結果を提示し、分析と協議を行った結果、下のような学校関係者評価をいただきました。

○学校関係者評価

- ・ 学習指導とモチベーション：2年生の小テスト（漢字・単語）の合格率が課題となっている点について、評議員から「導入部分で生徒を惹きつける工夫」や「成績に反映されない中でのモチベーション維持」の難しさが指摘され、学校側は、基礎力向上のため継続し、高得点者への校長賞授与などで意識高揚を図っていると回答しました。
- ・ 生徒指導と安全管理：琴平駅付近に新設された通学路について、依然として道路側を通行する生徒が多いことから、引き続き事故防止のための指導を徹底することが確認されました。また、校内の盗難対策として、貴重品ボックスの活用や移動教室時の施錠を強化している現状が報告されました。
- ・ 不登校生徒への対応：長期欠席生徒に対しては、担任が家庭と連携し、外部機関やカウンセラーの助言を得ながら、本人の進路を焦らせず慎重に見守る方針が示されました。
- ・ 地域連携と交流：野球部や保育福祉コースの生徒が近隣のこども園を訪問し、園児と交流している取り組みが紹介されました。評議員からは「高校生の存在がこどもたちに大きな刺激を与えている」と高く評価され、次年度以降もこの交流を継続・拡大してほしいという要望が出されました。
- ・ 働き方改革の影響：保護者と教員の意識差（悩み相談への対応力等）について、17時以降の留守番電話設定など、学校が進める働き方改革が数値に現れている可能性が議論されました。

令和7年度学校評価 自己評価表（校務分掌・学年団）

	本年度の重点目標	具体的な取り組み	実施状況	取り組みの見直し	実施状況	評価と来年度の課題
		(数値目標)	(中間評価)		(最終評価)	
総務	ボランティア活動や体験学習の機会を増加する。	地域との連携強化、ボランティア活動参加の案内。（参加のべ数700人以上）	C	募集のあるボランティアの案内を各ホームルーム教室に掲示する。	B	のべ参加人数686人。募集のあったボランティアに自主的に参加する生徒を増やしたい。
	「朝の読書」をきっかけに、読書活動を推進する。	図書貸出数950冊以上。	B	図書貸出数は949冊。今後もコーナー展示や掲示物作成を工夫してさらに貸出数を増やしていきたい。	A	貸出数は1,229冊。書店で図書委員による選書で直接購入を実施。全校生徒から希望を募り。選書する機会を設けたい。
教務	生徒が興味・関心を持って取り組める授業づくりを進めることで、学びを深め、夢の実現につながる真の学力をつけさせる。	ICT機器（特に教育用端末）の有効活用等により、興味・関心を高め、思考力や表現力の向上につなげる。 分かる授業作り:授業アンケート等による適宜改善。アンケートによる授業評価の各項目で「当てはまる+やや当てはまる」:80%以上。	B	今年度から1年生が端末を購入したことでICT機器を活用しやすくなった。また、3年生の教室に続き、2年生の教室にも電子黒板が導入されたり、特別教室の一部にも移動式電子黒板が入ったことでICT環境が整いつつある。教員も意欲的に活用しようとしている。授業評価アンケートは10月に実施予定である。	A	生徒からの授業評価は、各項目で「当てはまる+やや当てはまる」で80%以上を満たしており、数値目標は達成した。「努力した成果が成績に表れている」以外の項目は全学年で90%を超えている一方で、「努力した成果が成績に表れている」の項目は全学年で80%台となっている。来年度は生徒の努力が成績に表れるようにより一層、指導の工夫が必要である。
	地域や家庭との連携を深め、生徒と職員が一体となって活気に満ちた地域に愛される学校づくりを推進する。	H PやInstagramの活用等により、「学校の見える化」や魅力の発信を推進する。Classiにより保護者との情報共有を密にする。1日体験入学参加人数を前年度と同数程度にする。	A	H PやInstagramによる琴高の魅力発信は継続して実施できている。Classiでの情報発信も先生方が細やかにしている。体験入学の参加人数は、生徒238人⇒237人、保護者73人⇒67人とほぼ横ばいであった。	A	公開授業や異種武道大会、文化部等講演会等の公開行事を行い、来校者のアンケートでも、好評であった。Instagramに投稿する写真は生徒会が編集するようになり、生徒の目線から魅力を発信できるようになった。来年度も多くの中学生に1日体験入学に参加してもらえる様に魅力発信を続けていく。
生徒指導	一人ひとりに応じた指導	担任、学年主任、他の分掌と連携し、生徒一人ひとりの特性や家庭環境を踏まえた指導を行う。（数値目標なし）	A	生徒支援委員会等、校内での情報交換をしっかりとしていく。	A	各分掌や学年団と連携し、生徒一人ひとりの特性に配慮した指導が行えた。
	校内での盗難防止に努める。	昨年は、校内での盗難が発生したため、盗難の防止策と呼びかけを行う（盗難事案0件）	A	盗難件数は、激減した。引き続き、貴重品の管理をしっかりとしていく。	A	貴重品ボックスの活用や教室の施錠を徹底し、盗難件数は、減少した。
進路指導	進路意識の高揚を図り、生徒一人ひとりの進路実現を支援する。	進路希望調査で未定と回答する生徒3年生0%、1、2年生10%以内を目指す。	B	進路ガイダンスや進路行事を通して、進路について考える機会を提供していきたい。	A	1月時点の進路希望未定の生徒が1年生8%、2年生6%、3年生1%であり、概ね達成できた。来年度も自己理解を深め、自分らしい進路実現ができるような取り組みをしていきたい。
	地域の中で自分の役割を果たすために必要となる力を身につけさせる。		B	応募する会社を決めるために、複数の会社を見学し、ミスマッチが起こらないように指導している。	A	応募前職場見学は、1人につき2～3社は見学に行き、職場の雰囲気も参考にしながら応募先を決めることができた。来年度も続けたい。
	授業研究・学力向上の取り組みの改善にむけて共通理解を図る。		B	1年生の学びの基礎診断をWeb解答にすることで、個別に最適な問題の演習に取り組ませたい。	B	Web解答にすることで、すぐに演習に取り組むことができた。事前に目標をもって学習に取り組ませたい。
保健・相談	校内の美化に努める。ゴミの分別と清掃用具の管理と充実を図る。	ゴミの分別に関して、可燃ゴミの適正な分別を図る。（分別率90%以上）	A	現時点で9割以上の分別ができている。ただ、資源ゴミにできる紙類が可燃ゴミとして出されている場合があるので、資源ゴミとの分別を重点に置きたい。	A	中間評価時と同様に、9割以上の分別ができている。今後は、資源ごみの分別が課題である。
	生徒の悩みや困り感の早期発見、早期対応。	生徒の多様なニーズに対応できるよう担任や学年主任と連携を図る。保護者の協力や理解が得られるよう、SC・SSWと関係職員の連携体制を工夫する。	B	保護者との連携をはかり、必要な場合は医療機関等との連携を実施するようにする。また、関係職員のケース会を効果的に実施し、内容を支援に生かせるようにする。	A	生徒支援委員会やSC・SSWとの情報交換より、困り感を抱える生徒の情報を共有した。関係職員の連絡を密にし、早期発見・早期対応に努めていきたい。
人権・同和教育	人権L H Rの充実	人権意識・人権感覚の素地の育成が期待される内容への改善。他人事から自分事へと意識を変えられるような参加型学習の導入。	B	人権意識・人権感覚の素地育成を重視した人権LHRに改善している途中であるが、生徒からの反応は上々である。ただ、実生活との連動は十分とは言えず、他人事から自分事への意識改革にはまだまだ改善の余地がある。	B	人権意識・感覚の素地育成を大きな目標として展開してきた。ワークショップを中心に自分事として考える活動はおおむね好評であったが、まだまだ効果的な手法がありそうである。次年度もしっかりと改善していきたい。
	生徒の人権に関わる活動の充実	哲学カフェの毎月開催。 人権学習会の毎月開催。	B	活動はおおむね毎月開催できている。しかし、参加者はJFKを中心とした固定の生徒たちとなっているため広く呼びかけを行い、活動を根付かせたい。	A	研究指定を受けていたため、積極的にさまざまな活動にチャレンジできた。生徒たちから、次年度やりたいことや目標もできたので、生徒たちの自主性を尊重し進めていきたい。
	教職員への啓発	教職員向け人権・同和教育だよりの毎月発行。 各種研修への呼びかけ。	C	今年度は研究指定も受けている関係で、(言い訳になるが)教職員向け人権・同和教育だよりの発行が一切できていない。また、今年度は琴平高校から毎年参加してもらっていた若年教職員パワーアップ研修への教員参加もできなかった。教職員への啓発により一層力を入れていきたい。	C	今年度も主任としてさまざまな講話や研修の機会があった。ただ、そこで得た情報を教職員に広めるべく、現職教育を積極的にやりたいという思いと、日々業務に追われ時間のない先生方の負担になるのではとの思いで啓発をしっかりとできたとは言えなかった。どのように教職員への啓発を行っていくか、他の学校の主任とも情報を交換し実施していきたい。
特別活動	①図別活動に積極的に参加することを推進し、協調精神や自己肯定力の育成を図る。	部活動参加を積極的に呼びかけ、部活動入部率を80%以上にする。	B	年度途中に入部する生徒もいることから、部活動での取り組みが、自己の成長を促し、進路実現にプラスとなることを伝えていく。	B	部活動入部率は76.9%と昨年に比べて4.4%の増加がみられた。今後も部活動の魅力を伝え、新入生や在校生の入部を促し、入部率を高めていきたい。
	②図校外の活動を通して、よりよい人間関係を築こうとする態度を育てる。	各行事における生徒の役割を明確にし、事後アンケートの「行事・クラスへの貢献度」A（貢献できた）を80%以上にする。	B	学校行事に積極的に参加する生徒が多く、準備や行事の運営などに協力的である。中には自分本位の言動が見られる場面も一部あったが、周囲の人を思うことの大切さをその都度具体的に伝えていく必要がある。	A	学級活動や学校行事を振り返り、自分の役割を果たすなどの貢献ができたと考えられる生徒が90%をこえる割合であった。特に積極的に活動できた行事は琴高祭、クラスマッチ、体育祭の順であった。一方で、少数ではあるが集団活動に対する苦手意識のある生徒もおり、各場面において良い雰囲気づくりの意識付けをしていきたい。
1年団	自他への感謝を大切にし、自ら考えて学習・行動できる姿勢を身につけさせる。	漢字/英単語テスト・プレテスト平均点80点以上。	B	自他への感謝を大切にするためにも、自ら考えて、漢字/英単語テスト・プレテストに取り組み、平均点80点以上を目標にする。	B	自他への感謝は育ち始めた。プレテストに向けての準備を自ら考えてできなかったのが課題である。
2年団	基本的な学力・マナー（時間を守る、服装等）を身につけさせる。	漢字テスト・英単語テスト：合格率80%以上	C	小テストについて：まったく達していない。事前指導を学年全体で見直し、改善を図る。	C	漢字テスト合格率57.5%英単語テスト合格率58.0%で目標に達していない。合格者、不合格者はほぼ固定されている。事前課題の配布、プレテストの結果を受けての追指導等を行っているが、大きな改善は見られなかった。小さな努力を積み重ねる大切さを伝えたい。
		頭髮・服装違反：5%以下	A	頭髮・服装については、達成できているが、一部の生徒が違反を繰り返すため粘り強い指導が必要である。	A	服装・頭髮違反3%。 ルールを守るだけでなく、マナーの向上を目指したい。
3年団	自ら考えて学習・行動できる姿勢を身につけさせ、進路に向けて自ら行動する。	漢字テスト/英単語テスト 合格率80%以上。 1学期懇談時に全員進路希望先決定。	B	漢字テスト/英単語テストに対する学習定着ができず、目標に達していない。 進路はほとんどの生徒が受験先を決定した。	B	漢字テスト/英単語テストに対する学習定着ができない生徒もいて、目標点に達しなかった。進路はほとんどの生徒が決定した。

令和7年度 生徒からの授業評価

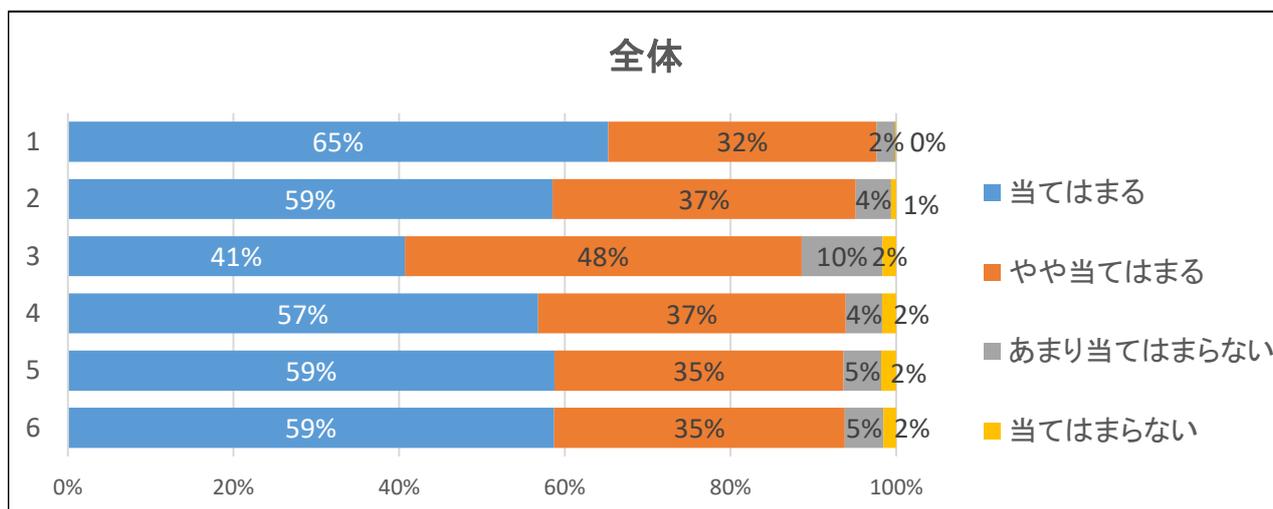
令和7年10月実施

【質問事項】

自己評価	1	授業に集中してまじめに取り組んでいる
	2	授業の準備する、課題を期日に提出する、予習復習をするなど、努力をしている
	3	努力した成果が成績に表れている
授業評価	4	先生の説明や板書はわかりやすい
	5	授業の進度はちょうどよい
	6	教え方や進め方に工夫を感じる

【選択肢】

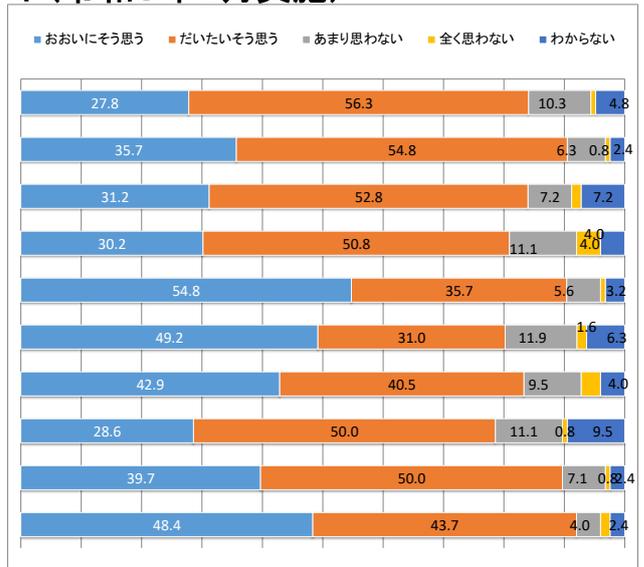
①	当てはまる
②	やや当てはまる
③	あまり当てはまらない
④	当てはまらない



令和7年度学校評価アンケート(令和8年1月実施)

【保護者】

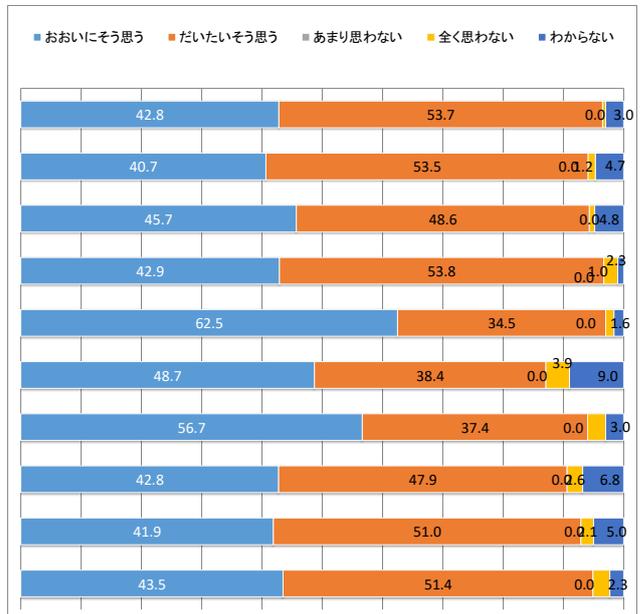
	おおいにそう思う・だいたいそう思う(%)	平均値(4段階)
1 生活面の指導により、きちんとした生活態度やマナーが身についた。	84.1	3.2
2 コース選択や進路決定に向けて、適切な指導やアドバイスを受けた。	90.5	3.3
3 進路見学会や進路相談会は、進路について考える上で有意義であった。	84.0	3.2
4 定期考査、課題テスト、漢字・英単語テストに向けて、よく頑張った。	81.0	3.1
5 体育祭や文化祭などの学校行事に、積極的に参加した。	90.5	3.5
6 部活動やボランティア活動など、自主的な活動を通じて心身ともに成長した。	80.2	3.4
7 差別やいじめを許さない環境で、安心して過ごすことができた。	83.4	3.3
8 悩みがあれば、いつでも相談でき、アドバイスや支援を受けられる環境にあった。	78.6	3.2
9 学校からの文書やホームページ、classiを通じて、琴平高校のことをよく知ることができた。	89.7	3.3
10 琴平高校での高校生活に満足している。	92.1	3.4



※データは端数処理をしています。

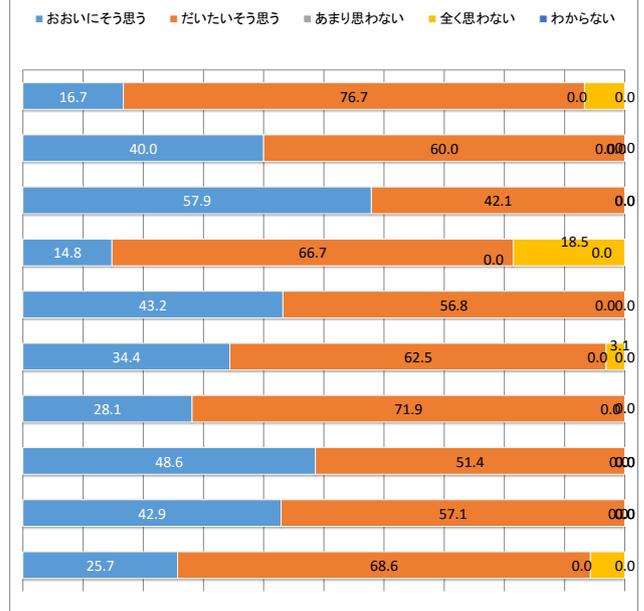
【生徒】

	おおいにそう思う・だいたいそう思う(%)	平均値(4段階)
1 生活面の指導により、きちんとした生活態度やマナーが身についた。	96.5	3.4
2 コース選択や進路決定に向けて、適切な指導やアドバイスを受けた。	94.2	3.4
3 進路見学会や進路相談会は、進路について考える上で有意義であった。	94.3	3.5
4 定期考査、課題テスト、漢字・英単語テストに向けて、よく頑張った。	96.7	3.4
5 体育祭や文化祭などの学校行事に、積極的に参加した。	97.0	3.6
6 部活動やボランティア活動など、自主的な活動を通じて心身ともに成長した。	87.1	3.4
7 差別やいじめを許さない環境で、安心して過ごすことができた。	94.1	3.5
8 悩みがあれば、いつでも相談でき、アドバイスや支援を受けられる環境にあった。	90.7	3.4
9 学校からの文書やホームページ、classiを通じて、琴平高校のことをよく知ることができた。	92.9	3.4
10 琴平高校での高校生活に満足している。	94.9	3.4



【教員】

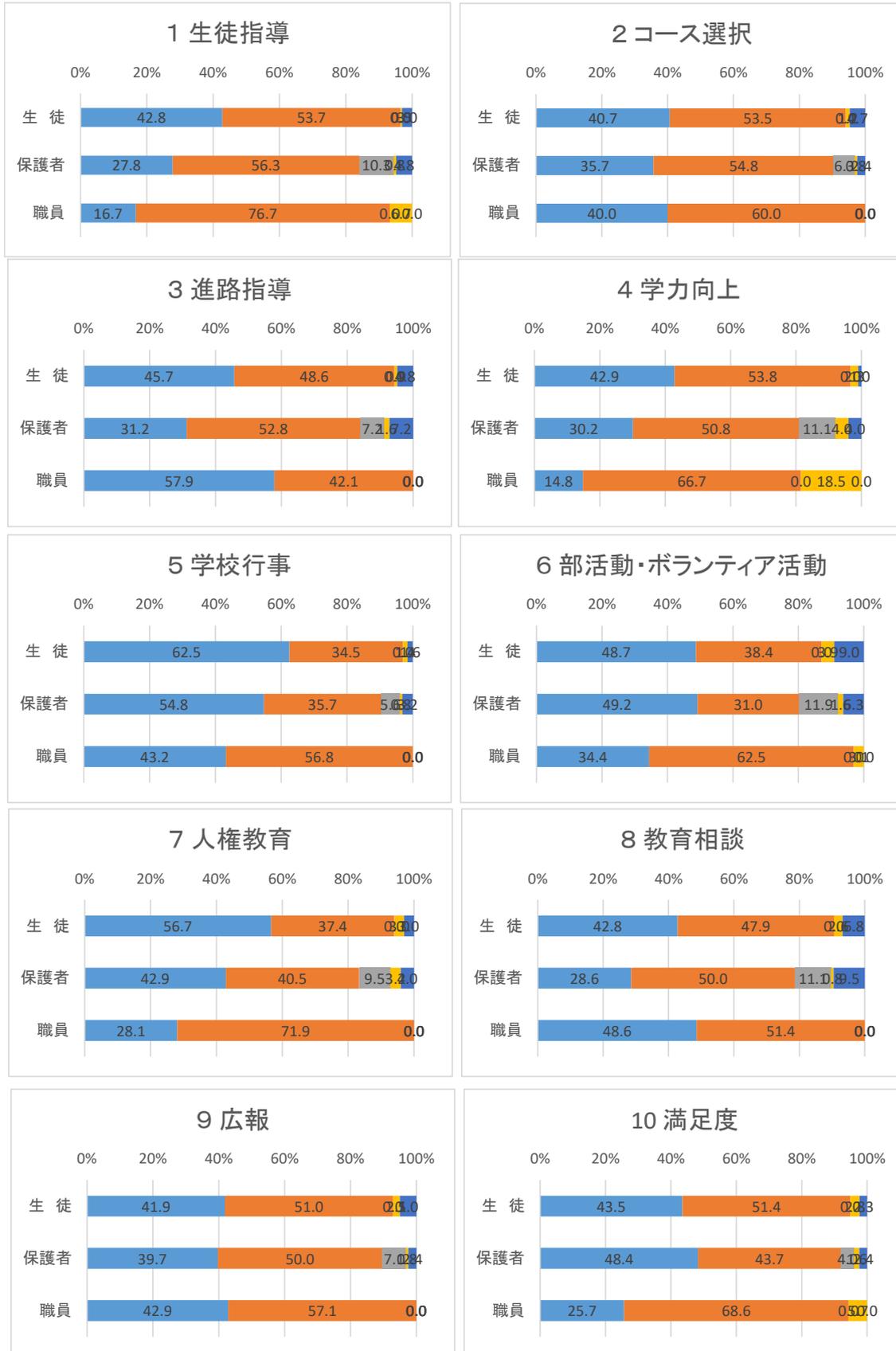
	おおいにそう思う・だいたいそう思う(%)	平均値(4段階)
1 生活面の指導により、きちんとした生活態度やマナーが身についた。	93.4	3.0
2 コース選択や進路決定に向けて、適切な指導やアドバイスを受けた。	100.0	3.4
3 進路見学会や進路相談会は、進路について考える上で有意義であった。	100.0	3.6
4 定期考査、課題テスト、漢字・英単語テストに向けて、よく頑張った。	81.5	2.8
5 体育祭や文化祭などの学校行事に、積極的に参加した。	100.0	3.4
6 部活動やボランティア活動など、自主的な活動を通じて心身ともに成長した。	96.9	3.3
7 差別やいじめを許さない環境で、安心して過ごすことができた。	100.0	3.3
8 悩みがあれば、いつでも相談でき、アドバイスや支援を受けられる環境にあった。	100.0	3.5
9 学校からの文書やホームページ、classiを通じて、琴平高校のことをよく知ることができた。	100.0	3.4
10 琴平高校での高校生活に満足している。	94.3	3.1



※設問3の前には「生徒にとって」、設問3以外は「生徒は」が文頭にあるとして回答
※7割程度の生徒ができていれば、「4:おおいにそう思う」で回答

令和7年度 学校評価結果 比較

■おおいにそう思う ■だいたいそう思う ■あまり思わない ■全く思わない ■わからない



・項目の中で生徒・保護者・教員の意識の差が少ないのがコース選択である。コース選択説明会や進路ガイダンスの充実、懇談での話し合いなどで三者の意見のすり合わせがうまくいっているからだと考えられる。保護者の意見からも満足度がうかがえる。
 ・学力向上、部活動・ボランティア活動、満足度の項目で、教員のおおいにそう思うの数値が低いのは、生徒へのやればもっとできるのという期待度の高さからくる結果かと思われる。